

# 源兵衛川の生物観察



GW三島の関係者(左)と生物を観察する児童＝三島市南田町

## GW三島が環境出前講座

### 西小児童、指導受け

三島市立西小の3年生は4日、同市のNP〇法人グラウンドワーク(GW)三島の環境出前講座を受講した。湧水に恵まれた市内を散策し、源兵衛川では生物の観察に臨んだ。

市民らが一体となつてかつての汚染から復活した経緯など、6月にGW職員から源兵衛川の成り立ちを学んだ児童は、白滝公園を起点に川沿いの散策を開始した。下流部では児童65人がGW三島の関係者の指導を受け、たも網を操つて環境省の絶滅危惧種に指定されるホトケドジョウなどの生物を調査した。

周辺をよく訪れるという同校3年の上野公(三島支局・伊藤龍太)は「源兵衛川は生き物がたくさんいて楽しい。友達もまた連れてきたい」と声を弾ませた。

GW三島は2009年度から「源兵衛川環境出前講座」を学校の授業などで実施しているが、16年度は8月まで延べ約1400人が受講する予定。